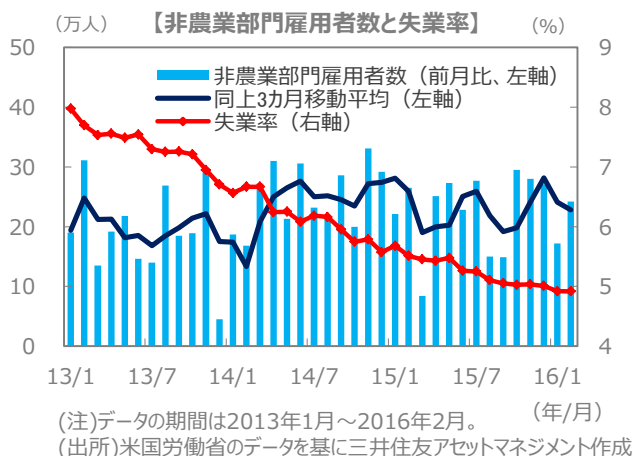


今日のトピック 米国の雇用統計（2016年2月） 雇用の増加ペースは月平均20万人超を維持

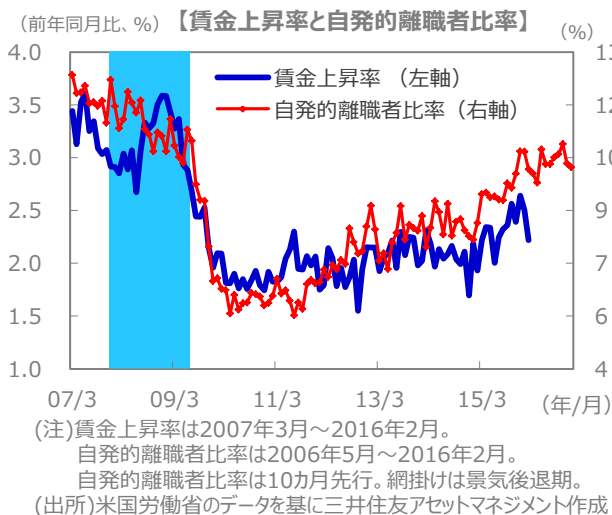
ポイント1 雇用者数は24.2万人増 サービス業の増加ペースが加速

- 2016年2月の非農業部門雇用者数は前月比 + 24.2万人の増加となり、市場予想（ブルームバーグ集計）の同 + 19.5万人増を上回りました。
- 過去2カ月で合計 + 3.0万人ほど上方修正されたこともあり、雇用の増加ペースは、3カ月移動平均で + 22.8万人と、+ 20万人超の水準を維持しました。
- 業種別では、製造業が5カ月振りの減少となったものの、サービス業と建設業の増加ペースが加速しました。



ポイント2 失業率は4.9% 賃金上昇率は前年比 + 2.2%

- 失業率は前月比横ばいの4.9%でした。景気拡大により労働供給（労働力人口）は大幅に増えましたが、それとほぼ同じペースで労働需要（就業者数）も拡大したためです。
- 賃金上昇率は前月比▲0.1%となりました。1月が同+0.5%となっていた反動とみられます。前年同月比でも前月の+2.5%から+2.2%に鈍化しました。もっとも、労働需給が改善を続けていることを踏まえると、賃金上昇率は今後、底堅く推移すると考えられます。



今後の展開 利上げ継続だが、そのペースは緩やかなものとなる見込み

- 失業率が5%を下回っていることから判断すると、米国は完全雇用の状態にあると考えられます。これを背景に2016年も利上げは継続される見通しです。
- ただし、物価が低い水準で安定していること、足元の賃金上昇率が依然として低いことなどから、利上げのペースは緩やかなものとなる見込みです。

ここも
チェック! 2016年 3月 4日 米国のISM景況感指数（2016年2月）
2016年 2月25日 米国の住宅市場

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。